

令和5年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（技術・家庭（家））

受験番号	中家庭	氏名	
------	-----	----	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから5ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 「食事の役割と中学生の栄養の特徴」「中学生に必要な栄養を満たす食事」に関する学習について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 下の【生活の振り返りの一部】は、学習の導入において、1人1台端末で入力した日常の食事場面や食事内容についての振り返りを、学習支援ソフトで共有したものの一部である。後の①～③の問いに答えなさい。

【生活の振り返りの一部】

<p>食事は健康や成長のために必要(ア)なので、なるべく好き嫌いなく食べるように心がけている。</p> <p style="text-align: center;">生徒A</p>	<p>起きるのが遅いときがあり、朝食を抜いてしまうことがある。(イ)</p> <p style="text-align: center;">生徒B</p>
<p>野菜を食べた方がいいと思うけど、具体的に何をどのくらい食べるとよいか分からない。</p> <p style="text-align: center;">生徒C</p>	<p>小学校で五大栄養素(ウ)について学んだけれど、そのことを意識して食事をしていない。</p> <p style="text-align: center;">生徒D</p>

- ① (ア)のような食事の果たす役割について、小学校で学んだ「健康を保つ」や「体の成長や活動のもとになる」ことの他に、生徒に理解させたいことを2つ書きなさい。
- ② (イ)のような生徒が複数いたことから、朝食の役割について具体的に理解できるように、資料を提示して考えさせたい。どのような資料を提示するとよいか書きなさい。
- ③ (ウ)の栄養素について、成人と比べて、中学生の時期に多く摂る必要のある栄養素を2つ答えなさい。また、その理由を説明しなさい。

(2) 中学校における「中学生に必要な栄養の考え方」は、高等学校のどのような学習内容に発展するか答えなさい。

(3) 栄養素の種類と働きの学習では、五大栄養素以外に、重要な働きをする「水」と「食物繊維」も取り上げることとした。それぞれの働きを説明しなさい。

(4) (1)の生徒の振り返りで、「何をどのくらい食べるとよいか分からない」という記述が見られたことから、下の【食品群別摂取量の目安】を示して、1日分の摂取量についての学習を進めた。後の①～③の問いに答えなさい。

【食品群別摂取量の目安】

1群	2群	3群	4群	5群	6群
男 330g	男女 400g	男女(エ)g	男女(オ)g	男 700g	男 25g
女 300g				女 650g	女 20g

※摂取量の目安は、12～14歳における1人1日分を示す

(大石、三戸、杉山『日本家庭科教育学会誌63巻2号』2020年より)

- ① (エ)と(オ)に当てはまる3群と4群の摂取量をそれぞれ答えなさい。

- ② この目安について、生徒から「2群に分類される小魚や海藻は乾燥しているものが多くあるけど、そのままの重量で計算してよいのか」という質問があった。2群の摂取量の計算の仕方に触れて、生徒への説明を記述しなさい。
- ③ 生徒が前日の食事に使われていた食品を食品群別に分類する活動を行ったところ、次の食品を同じ食品群に分類している生徒がいた。分類の異なる食品名を1つ挙げ、その食品に多く含まれる栄養素と正しい食品群に触れた上で、生徒への説明を記述しなさい。

さんま	ハム	とうふ	らっかせい	ちくわ
-----	----	-----	-------	-----

- (5) 生徒の家庭での食事を授業で取り上げる場合には、生徒のプライバシーに十分配慮する必要がある。どのように配慮するのか具体的に書きなさい。

2 「自分の成長と家族・家庭生活」に関する学習を、家庭分野のガイダンスとして扱うため、第1学年の最初の題材に位置付けた。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習を振り返ったり、家庭分野の学習のねらいや概要に触れたりする学習活動を設定した。この活動を設定した教師の意図を書きなさい。
- (2) 家族・家庭の重要性について理解できるように、家族・家庭の基本的な機能を取り上げた。下の【生徒の記述】は、家族・家庭の基本的な機能について生徒がまとめたものである。後の①、②の問いに答えなさい。

【生徒の記述】

家族・家庭の基本的な機能

- 食事、入浴、睡眠、休憩などの衣食住の生活を営み、健康や安全を保つ機能
- 子供を育てたり、家族を看護・介護したりする機能
- 生活のための収入を得るなどの経済的な機能
- (ア) 機能
- (イ) 機能

- ① (ア) (イ) に入る、生徒に理解させたい家族・家庭の基本的な機能を書きなさい。
- ② 家族・家庭の基本的な機能については、その後の学習でも取り上げ、それぞれの内容と関わらせて学習を進めていく。このように学習を進める教師の意図を書きなさい。
- (3) 「自分の成長と家族・家庭生活」の内容については、今回のように家庭分野のガイダンスとしての扱いと、A(2)「幼児の生活と家族」やA(3)「家族・家庭や地域との関わり」との関連を図り学習を進める扱いの2つがある。A(2)やA(3)との具体的な関連の図り方を説明しなさい。

- 3 「住居の機能と安全な住まい方」について、下の学習計画に沿って学習する。後の(1)～(7)の問いに答えなさい。

【学習計画】

時 間	○主な学習活動
第1時	○住居の機能と安全な住まい方についての問題を見だし、課題を設定する。
第2～7時	○家族の生活と住空間との関わりについて考える。…(ア) ○日本の住まいの特徴について知る。…(イ) ○家庭内事故の要因と対策について考える。…(ウ) ○自然災害に備えるための住空間の整え方について考える。 ○家族にとって快適で安全な住まい方について考え、家庭での実践計画を立てる。…(エ)
実践計画に従って、家庭で実践する。…(オ)	
第8時	○家庭での実践の結果を話し合い、題材の振り返りをする。

- (1) (ア)において、下の【モデル家族】を示し、家族の生活と住空間との関わりについて考える活動を設定した。この活動を設定した教師の意図を書きなさい。

【モデル家族】中学生Aさんの家族（5人家族で3LDKの住まい）

	住まいについての願いや思い
中学生Aさん（14歳）	自分1人だけで使える部屋が欲しい
弟（4歳）	1人で寝るのがこわい
父（43歳）	家族との団らんを大切にしたい
母（44歳）	家でパソコンを使える場所が欲しい
祖母（73歳）	近所の人を呼んで話をしたり、お茶を飲んだりする場所が欲しい

- (2) (イ)について、次の①、②の問いに答えなさい。

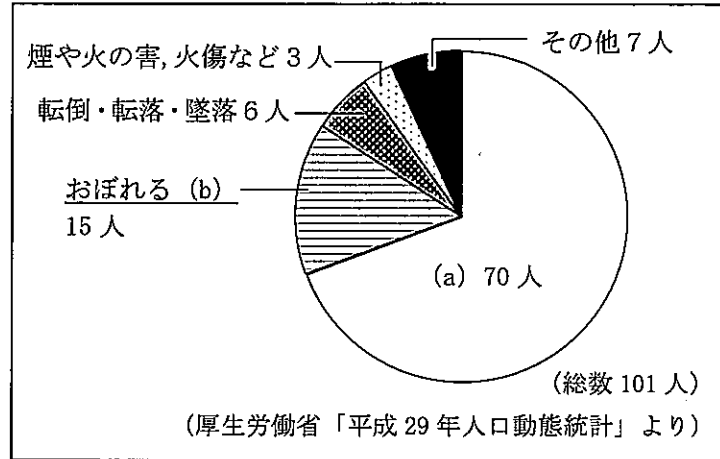
① 和式と洋式の住まいの特徴の学習において、ある生徒が「和式の住まいには床の間がある」と発言した。しかし、多くの生徒が「床の間」を知らなかったため、教師が生徒に説明することとした。「床の間」とは何か説明しなさい。

② 現在の住まいでは、和式と洋式を組み合わせる和洋折衷で空間を使うことが多いことから、和洋折衷の空間の使い方の例を示すこととした。生徒に示す例を2つ書きなさい。

- (3) (イ)において、日本各地の住まいの画像を提示し、比べる活動を設定した。この活動を設定した教師の意図を書きなさい。また、生徒に提示する例を具体的に1つ書きなさい。

- (4) (ウ)において、下の【グラフ】を提示し、家庭内事故の現状からその防止について考える活動を設定した。後の①、②の問いに答えなさい。

【グラフ】(0～4歳の家庭内事故死のおもな原因)



- ① (a)に入る、幼児に多い家庭内事故死の原因を答えなさい。また、その原因に対する生徒に理解させたい対策を書きなさい。
- ② (b)の「おぼれる」は、高齢者の事故でも多い。高齢者がおぼれる原因の1つにヒートショック現象がある。ヒートショック現象とは何か説明しなさい。また、ヒートショック現象に対する生徒に理解させたい対策を書きなさい。
- (5) 幼児がいる家庭では、(4)のグラフからも分かるように、住まいの中で思いがけない事故が起こる可能性が高いことから、幼児の疑似体験をする活動を設定した。幼児の身体的特徴に触れて、生徒に疑似体験させる方法を説明しなさい。
- (6) (エ)において、家庭での実践計画を各自が立てた後に、グループで伝え合って見直す活動を設定した。グループ内で互いにアドバイスすることを踏まえ、実践計画書に必要な項目(氏名・感想・振り返りを除く)を書きなさい。
- (7) (オ)において、実践前後の様子を各自に記録させた。このようにした教師の意図を書きなさい。

4 「消費生活・環境」の学習について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 生徒が1人1台端末を使って、持続可能な生活について調べる活動を行った。次の【生徒の会話文】は、環境と食生活の関係について調べた3人が、それぞれが調べたことを基に話し合っている様子の一部である。後の①～③の問いに答えなさい。

【生徒の会話文】

生徒A 日本は食糧自給率が低いけど、たくさんの食品が廃棄（ア）されているんだね。年間の廃棄量は、世界の飢餓に苦しむ人々に向けた食糧援助量を上回っているなんて驚いたよ。

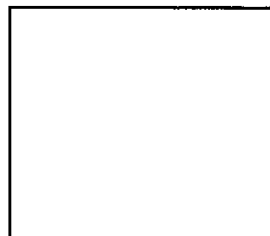
生徒B 食糧自給率が低い日本は、フード・マイレージ（イ）の値が大きい国だとも書いてあったね。

生徒A SDGsについても調べたら、「飢餓をゼロに」という目標もあったよ。この目標に向かうために、自分たちにはどんなことができるだろう。

生徒C 私は、商品に付けられているマーク（ウ）を見つけたのだけれど。
(見つけたマークを見せる)

生徒B 僕もそのマークが気になって調べたよ。
(話し合いは続く)

- ① (ア)のように食品が廃棄されることについては、食糧資源が無駄になること以外にも問題がある。生徒に捉えさせたい食品廃棄の問題点について説明しなさい。
- ② (イ)のフード・マイレージとは何か説明しなさい。また、その計算式を書きなさい。
- ③ (ウ)の生徒たちが見付けて調べた右のマークの名称と、その意味を書きなさい。



- (2) (1)の会話で、自分たちにできることを考えていた生徒Aは、授業の振り返りで、「旬の野菜を買うことならすぐにできるし、続けられる」と、記述した。旬の野菜を購入することが環境負荷を少なくする理由を答えなさい。

技術・家庭（家） 解答用紙	2枚中の1	受験番号	中家庭	氏名	
---------------	-------	------	-----	----	--

(5年)

※欄には記入しないこと

1	(1)	①				※	※
		②				※	
		③	栄養素			※	
			理由			※	
	(2)					※	
	(3)	水				※	
		食物繊維					
	(4)	①	エ		オ		※
		②					※
		③					※
	(5)					※	

2	(1)					※	※
	(2)	①	ア			※	
			イ				
		②				※	
	(3)					※	

技術・家庭(家) 解答用紙	2枚中の2	受験番号	中家庭	氏名	
---------------	-------	------	-----	----	--

(5年)

※欄には記入しないこと

3

(1)				※	※
(2)	①				※
	②				※
(3)	意図				※
	具体例				
(4)	①	原因			※
		対策			
	②	説明			
		対策			
(5)				※	
(6)				※	
(7)				※	

4

(1)	①				※	※
	②	説明			※	
		計算式				
	③	名称			※	
		意味				
(2)				※		

以下はあくまでも解答の一例です

技術・家庭（家） 解答用紙	2枚中の1	受験番号	中家庭	氏名	(5年)
---------------	-------	------	-----	----	------

※欄には記入しないこと

1	(1)	①	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を共にすることが人間関係を深める（人と人とのつながりをつくる・触合いの場となるなど） ・偏食を改善し、栄養のバランスのよい食事にもつながる ・行事食や郷土料理など、食事が文化を伝える（食文化を継承する など） から2つ 		※ 6×2	※ 70 点	
		②	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食の摂取と健康状態の関係を示す資料 ・朝食の摂取と体温の変化の関係を示す資料 など 		※ 6		
		③	栄養素	たんぱく質と無機質 など	※ 3×2		
			理由	中学生の時期は成長期にあり、身長や体重が増加するため など	※ 6		
		(2)	(幼児期から高齢期までの) ライフステージ別の栄養の特徴の学習			※ 6	
	(3)	水	消化吸収された栄養素の運搬や、老廃物の排出、体温調節の働き など		※ 5×2		
		食物繊維	腸の働きを活発にし、便通をよくして体調を整える働き など				
	(4)	①	エ	100	オ	400	※ 3×2
		②	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻類は戻し後の重量で計算するよ ・牛乳以外のものは、カルシウム量に置き換えて計算するよ など 				※ 6
		③	らっかせいは、脂質を多く含むため、6群に分類される など				※ 6
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事内容から家庭状況が連想されることがあるので、調べた結果全体ではなく、一部だけを取り上げる ・個人を特定できない（連想できない）ように、学級全体の傾向として取り上げる など 					※ 6

2	(1)	家庭分野の学習は、一人一人の生活の自立や、家族や地域の人々と共に家庭生活を工夫し創造することにつながる事が分かり、学習への期待や意欲をもつことができるようにするため など					※ 6	※ 30 点
	(2)	①	ア	<ul style="list-style-type: none"> ※ア・イは順不同 ・心の安らぎを得られるなどの精神的な（機能） ・生活文化を継承する（機能） ・地域の活動を支える（機能） などから2つ 			※ 6×2	
			②	家族・家庭の基本的な機能が果たされることが、よりよい生活を営むために大切であることに気付かせるため など				※ 6
	(3)	自分の成長を振り返り、中学生の時期にある自分と家族・家庭生活との関わりについて考えるなど、A(2)又はA(3)の導入として扱う など					※ 6	

以下はあくまでも解答の一例です

技術・家庭（家） 解答用紙	2枚中の2	受験番号	中家庭	氏名	(5年)
---------------	-------	------	-----	----	------

※欄には記入しないこと

3	(1)		家族が共に暮らすためには、住生活に対する思いや願いを互いに尊重しながら調整して住空間を整える必要があることを理解できるようにするため など	※ 6	※ 70 点	
	(2)	①	畳より一段高く、季節や行事に合わせて、掛け軸や花、置物などを飾る場所 など	※ 4		
		②	<ul style="list-style-type: none"> ・畳の部屋にベッドやソファを置く ・畳の部屋にダイニングテーブルを置き、椅子に座る ・フローリングの部屋にこたつを置く ・フローリングの部屋にカーテンでなく、障子を使う などから2つ 	※ 3×2		
	(3)	意図	日本は南北に長く、地域の気候風土が異なるため、各地に合わせた特徴のある住まいがつくられてきたことを理解できるようにするため など			※ 12
		具体例	<ul style="list-style-type: none"> ・出入りのときに室内に雪や冷気が入らないように、風除室を設けている北海道の住まい ・台風の被害を防ぐため、周りを石垣や樹木で囲んだ平屋建てが多い沖縄の住まい など 			意図6 具体6
	(4)	①	原因	窒息		※ 12
			対策	誤飲のおそれがあるので、幼児の手の届く場所にさわったり、口に入れたりしそうな物を置かない など		原因6 対策6
②		説明	急激な温度変化によって、身体がダメージを受けること など		※ 12	
		対策	浴室と脱衣所の空間の温度差を小さくする など		説明6 対策6	
(5)		幼児は視界が狭いことから、子供の視界体験眼鏡を付けて歩かせる など		※ 6		
(6)		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の思い ・現状（課題） ・計画の具体（手順・工夫） など 		※ 6		
(7)		<ul style="list-style-type: none"> ・前後を比較して、実践の成果を実感できるようにするため ・自己評価や相互評価をし、改善へつなげられるようにするため など 		※ 6		

4	(1)	①	廃棄された食品を運搬、焼却するときにも、二酸化炭素が排出され、自然環境に悪影響を与えていること など		※ 6	※ 30 点	
		②	説明	食品の輸送が環境に与える負荷の大きさを表す指標 など			※ 9
			計算式	輸入量（t）×輸送距離（km）			説明6 式3
	③	名称	カーボンフットプリント・マーク		※ 9		
		意味	商品の原料調達から廃棄・リサイクルまでに排出される温室効果ガスをCO ₂ に換算し、商品に表示したもの など		名称4 意味5		
(2)		旬に露地栽培された野菜は、旬以外にハウス等で栽培された野菜に比べて、栽培にたくさんのエネルギーを必要としないから など		※ 6			